

みやづ

市議会だより

第93号

2018

11.20



平成30年9月定例会

防災拠点施設の整備で防災体制を強化

p.2~3

常任委員会報告

決算認定・補正予算審査

p.4~8

一般質問

10人の議員が市政を問う

p.10~13

〈特集〉議員が
おじゃましました!

センター方式の学校給食

p.14~15

10月8日
赤ちゃん
初土俵入り
(P8参照)

平成29年度 決算認定

防災拠点施設の整備に1億6,445万円

本 会 議

Q 大型事業が重なった平成29年度決算をどのように分析しているのか？

A 平成29年度決算は、18年度以降最大の規模となった。多くは市債の発行で対応したが、多額の市債借入れは、将来の公債費（借入金返済）の増加につながるものである。施設整備に伴うランニングコストの増加とあわせ、今後の財政運営上の課題である。

Q ※実質公債費比率と※将来負担比率が悪化した。今後の見通しは？

A 有利な起債を最大限活用していることもあり、当面は現行水準で推移すると見込んでいるが、公債費や特別会計への繰出金などの負担が大きい状況を示しており、他の政策的な事業に回す財源が少ない状態である。

※実質公債費比率

借入金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を表すもの。

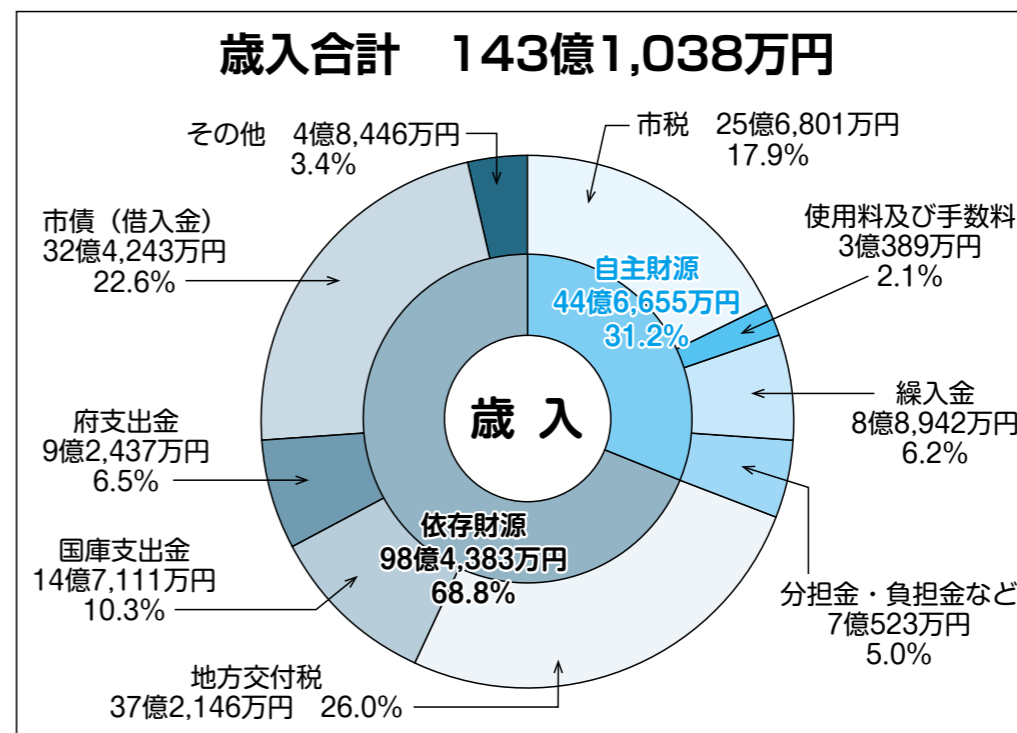
※将来負担比率

地方債や将来支払う可能性のある負担などを残高として指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを表すもの。

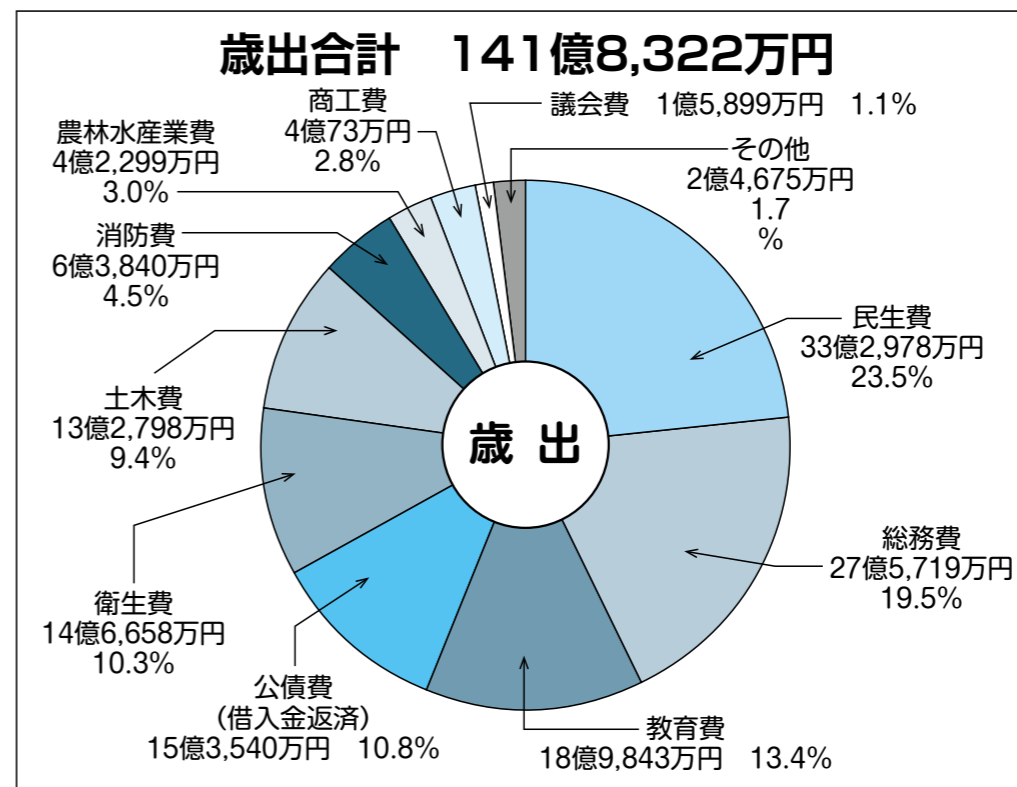
9月定例会のひびき

平成30年9月定例会を9月3日から10月4日までの32日間開催しました。今定例会では、平成29年度決算、平成30年度補正予算、条例改正など15議案と追加提案の2議案を審査し、いずれの議案も原案のとおり可決、認定、同意しました。

また、議員提案の「一般国道178号の強靱化を求める意見書」を全員賛成で可決し政府に提出するとともに、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」を賛成多数で可決しました。
一般質問は、9月10日、11日に10人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は72人（6月定例会は26人）でした。



1億2,716万円の黒字 (12年連続の黒字決算)



討論

後期高齢者医療 特別会計決算で討論

賛成 日本共産党
元気の宮津、宮津再生に向け確実に歩を進めているが、財政運営には一抹の不安を感じる。市長には、民間目線での経営感覚を発揮いただくことを期待する。

反対 日本共産党
保険料軽減措置の縮小などにより保険料が高くなり、被保険者の負担が重くなっている。高齢者が安心して医療を受けられるよう、制度の抜本的な見直しが必要である。

一般会計決算で討論

賛成 宮津新生会
元気の宮津、宮津再生に向け確実に歩を進めているが、財政運営には一抹の不安を感じる。市長には、民間目線での経営感覚を発揮いただくことを期待する。

賛成 蒼風会
多額の公的投資であったが、早々に政策成果が見えて現れている事業もあり、未来に向けての着実な住民福祉の向上となる決算だったと評価する。

反対 日本共産党
国の政策、国の財源を利用した事業が市民不在で押し進められている。市民のくらしや福祉、市民サービスの向上に目を向け、市民目線の市政運営を望む。

賛成 公明党
将来のために必要な施設整備、災害時の安心安全対策などを適切な起債計画で進めるとともに、安定した行政運営に向けた職員の人材確保を願う。

平成29年度 決算審査

Q & A

総務文教分科会

一般会計

平成29年度決算額
141億8千万円

委員間討議

○計画的な事業執行をするべきではないか。また、みやびビジョン2011の検証が必要ではないか。

防災拠点施設の整備に

1億6445万円

宮津与謝消防組合宮津分署の建て替えに合せて、防災拠点施設を新たに整備した。消防組合と連携し、防災体制の強化を図るもの。

Q 利便性は？

A 消防署と併設したことにより、災害対策本部などの会議には宮津分署長や消



宮津与謝消防組合宮津分署と防災拠点施設

防団なども参画する。また、自衛隊、海上保安署や京都府などのリエゾン（災害対策現地情報連絡員）、国土交通省のテックフォース（緊急災害対策派遣隊）が1つのスペースで作業した。災害対策本部や支援部隊の連携が十分に機能していると考える。また、原子力防災訓練では、国・府・市町村でテレビ会議を実施し、避難訓練の検証をしている。

ふるさと納税寄付額
9826万円

Q 返礼品の取り扱いには？

A 30事業所1144件あり、一番人気はカニ類である。産品調達などの費用3190万円のうち、郵送・宅配便に約400万円、地元業者への発注分が約2600万円である。

B&G海洋センター
体育館に冷暖房設備
9303万円

Q 利用状況は？

A 夏季まではクラブ合宿など宿泊もかねての利用が多く、約2割増えている。秋以降の利用をどう伸ばすかが課題である。

天橋立周遊観光に
1064万円

Q 観光交流人口は300万人を達成したが、観光消費額は97億円で、目標まで20億円以上の開きがある。対応は？

A 宿泊施設の週末稼働率が8割に対し、平日は2〜3割なので、平日の宿泊客を増やすためにも外国人観光客の誘客に力を入れたい。

委員間討議

○外国人観光客はアジア系が多く、中国語などの言語対応も必要ではないか。

清掃工場の解体・跡地利用の計画に
960万円

Q 地元との協議は？

A 地元と確認書を書き交わしており、新施

設稼働までに地域振興につながる跡地利用計画を協議していく。

小中一貫教育に向けて
969万円

Q 取り組みの成果は？

A 基本計画や学力向上プランを策定し、系統的な教育ができるようカリキュラムを作成した。これらが、栗田小・中学校の乗り入れ授業や、吉津・府中・日置・養老の4小学校連携の英語の授業につながっている。

ミッブルへの図書館・庁舎機能の一部移転などの事業費に
11億251万円

Q 新図書館の状況は？

A 1日当たりの入館者数は約4・6倍。



つつじが丘団地

年間入館者数の目標値7万5千人を達成できる見込み。貸出人数は1・8倍の伸び。開館時間の延長や商業施設内への整備で利便性が向上したことが大きい。

特別会計

土地建物造成事業
1億2012万円

Q つつじが丘団地の販売の課題は？

A 販売単価が高いことである。今後、どのように販売するか、販売価格を引き下げるのが本当に正しいのか考えながら進める。

産業建設福祉分科会

一般会計

京都府北部福祉人材養成システム総合実習センター整備費補助事業に
8575万円

Q マ・ルートの開設で特別養護老人ホ

国民健康保険事業
27億7983万円

Q 一人当たりの保険給付費が増加傾向とあるが、医療費や診療内容、被保険者数の動向は？

A 医療費は39万6777円で、2・4%の増、被保険者数は5075人で31人の減、診療内容は、入院・外来件数は減少しているが、薬剤支給件数は増加し、一人当たり費用額は入院・外来・薬剤とも上昇している。



マ・ルート

ームへの入所待機者数と待機期間はどれくらいになったのか？

A 以前は60数人の待機者数であったが、50人前後となっている。待機期間は、その時の状況にもよるが、入所申請から1カ月半から2カ月で入所できている。

地域子育て支援事業に
1575万円

Q 「にっこりあ」の利用実績は？

A 平成29年度の利



にっこりあ

いきいき健康長寿のまち「みやび」推進事業に
4772万円

Q 推進プランに掲げている指標の進捗状況は？

A 健康寿命を平均寿命に近づける目標値は、平成28年度に比べて拡大した。要介護認定率は平成28

年度より0・3ポイント上昇した。健診受診率の向上は、平成29年度は若干下がっているが、平成28年度に健診費用を無料とし、受診率が大きく伸びたことによる反動と考えている。

委員間討議

○推進プランに掲げる目標達成に向けて事業を推進されたい。

農水商工観連携推進事業に
904万円

Q 大和学園との連携がどのように行われたのか？また、開発した商品を土産物店であまり見かけないが、どんな取り組みが行われてきたのか？

A 大和学園には、土産物づくりや料理メニューのアドバイザーをいただいた。平成29年度は16品の新

商品開発とカタログの作成を行ったが、自社での小ロットの生産に留まっておりに見えてきていない。

エネルギー地産地消推進事業に
106万円

Q 事業を進めていく上での課題は？

A 市が参入する意義、高圧電力使用者の賛同、卸売電力市場の価格変動に対応していくのかなどが課題と考えている。

里の地域資源活用事業に
3820万円

Q オリーブの生産拡大の実績は？

A 平成29年度は、3千本の目標に対して334本、農地再生が23ほ場181アールであった。

特別会計

土地建物造成事業
1億2012万円

Q つつじが丘団地の販売の課題は？

A 販売単価が高いことである。今後、どのように販売するか、販売価格を引き下げるのが本当に正しいのか考えながら進める。

Q オリーブオイル宮津の法人化が遅れているが、従業員の処遇と商標登録による収益損失を、どう考えているのか？

A 法人化する方針に変わりはない。植栽本数の遅れを取り戻すため、企業参入やオリーブオイル宮津の先行整備、収支計画を見ながら協議を進めていく。

新し尿処理施設整備準備事業に
565万円

Q 概算費用は？また、希釈投入の倍率は？

A 概算費用は施設整備に7億2千万円、設計費に3700万円を見込んでいます。希釈倍率は11倍と設定しているが、運用時に変動できるようにする。

特別会計

介護保険事業

28億630万円
保険者数7363人、高齢化率40.8%、要介護認定者数1880人（認定率25.2%）

Q 介護保険の現状把握と課題の認識は？

A 施設サービスは充実し、医療と介護の多職種間連携も進んできた。課題として、介護離職による生活困窮、子どもの養育と親の介護を同時に担当するダブルケア、ひとり暮らし高齢者の孤立化などへの対応があり、地域での結びつきを強化する必要がある。

水道事業会計

5億6246万円

Q 石綿管の布設替

えはいつ完了するのか？

A 平成29年度末で約1200m残っており、平成30年度に布設替えは完了するが、布設から40年を経過した老朽管が全体の11%に当たる23km存在し、今後はこれらの更新を進めていきたい。



水道管の布設替え工事

予算決算委員会

一般会計

委員間討議

財政運営

○平成28年度・29年度に大型事業が集中

した。計画的な事業執行すべきと市に示してはどうか。

○経常収支比率100%超は指摘しなければならぬ。できるだけ事業費を平準化するよう検討すべきとの意見を付してはどうか。
○大型事業に伴う維持管理経費が経常収支比率に影響する。そこを見据えた計画づくりが必要である。

意見

財政運営

○大型事業などが集中したこと、経常収支比率が100%を超えたことを踏まえ、今後、維持管理費などのランニングコストなども十分勘案し、慎重な事業執行を図られたい。

産業建設福祉分科会

一般会計

診療所整備事業に380万円

Q 養老歯科診療所に歯科診療所用寝台が更新されるが、その必要性は？

A 現在使用しているものは、昭和55年に整備したものであり、故障も多く診療に支障をきたしているため更新するものである。

観光商業施設運営支援事業に300万円

Q 指定管理者への立ち上げ支援として300万円の助成を3年間予定されているが、金額の根拠は？

A 運営補助ではなく、情報発信など広

総務文教分科会

一般会計

議員定数削減などによる人件費の減額 ▲685万円

Q 適正職員数の基準は？

A 平成27年度時点では230人としていたが、地方創生などの新たな仕事も生じ、これ以上の削減は困難であり238人を維持する。今後は、行財政運営指針を踏まえ検討していく。現在の実人数は233人である。

災害時発信専用特設公衆電話の設置に17万円

指定避難所12カ所に14台設置する。

Q 災害時発信専用特設公衆電話とは？

A 指定避難所の玄

関やロビーに設置する。発信専用だが無料で使用できる。N T Tとの災害応援協定に基づき、配線工事などはN T Tが負担し、市は電話機の購入だけである。

大河ドラマ「麒麟がくる」のPRに35万円

Q 今後の取り組みは？

A 「細川忠興公・ガラシャ夫人生誕450年記念実行委員会」の改組も視野に、大河ドラマを活用した取り組みを検討していく。行政は機運醸成を、商工会議所は土産物づくりなどによる経済活動の活性化を、観光協会は観光誘客や情報発信と、役割分担し体制を整えていく。

特別会計

介護保険事業

1億1065万円
平成29年度に受け入れた国府支出金の精算、電算システムの改修、基金積み立てが主な内容である。

Q 基金積み立てを4千万円計上しているが、積立金の状況は？

A 平成29年度に3千万円を積み立てており、本年度末の基金残高は7千万円に達する見込みである。



市道島崎公園線

Q 市道島崎公園線の一部拡幅工事の具

体設計は？

告宣伝費に対しての助成である。運営者の収支計画に計上された広告宣伝費から支援すべき額を決定した。毎年利用状況をチェックし広告宣伝の効果が出ていると判断できれば、300万円を下回ることもある。

景観まちづくり推進事業に3652万円

主な補正予算の内容

<一般会計>

- ◆観光商業施設運営支援事業 300万円
- ◆景観まちづくり推進事業 3,652万円
- ◆学校教育環境の整備・充実 6,080万円
- ◆のびのび放課後クラブ事業 6,600万円
- ◆電算管理事業 1,650万円
- ◆診療所整備事業 380万円
- ◆消防施設整備事業 1,990万円
- ◆防災施設整備事業 287万円
- ◆国府支出金等返還金 2,471万円 など

<特別会計>

- ◆国民健康保険事業 7144万円
- ◆後期高齢者医療 290万円
- ◆介護保険事業 1億1,065万円
- ◆下水道事業 719万円

全員賛成で可決した議案

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
報告15	専決処分の承認を求めると (H29一般会計補正予算(第1号))	承認	63	H29歳入歳出決算認定(養老財産区)	認定
			64	// (日ヶ谷財産区)	//
報告16	専決処分の承認を求めると (H29水道事業会計補正予算(第1号))	//	65	H29水道事業会計利益の処分及び決算の認定	可決及び認定
			66	人権擁護委員候補者の推薦	同意
50	H29歳入歳出決算認定(土地建物造成事業)	認定	67	市税条例等の一部改正	可決
51	// (国民健康保険事業)	//	68	H30一般会計補正予算(第2号)	//
53	// (介護保険事業)	//	69	H30国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
54	// (介護予防支援事業)	//	70	H30後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
55	// (簡易水道事業)	//	71	H30介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
56	// (下水道事業)	//	72	H30下水道事業特別会計補正予算(第1号)	//
57	// (休日応急診療所事業)	//	73	H30水道事業会計補正予算(第2号)	//
58	// (上宮津財産区)	//	74	教育委員会委員の任命	同意
59	// (由良財産区)	//	75	一般職員の給与に関する条例及び特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決
60	// (栗田財産区)				
61	// (吉津財産区)				
62	// (世屋財産区)				
市議6	一般国道178号の強靱化を求める意見書	//			

賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議案番号	案件・結果	議員名	蒼風会		公明党		市民連合クラブ		宮津新生会		共産党議員団		無所属クラブ	
			坂根栄六	向山禎彦	長本義浩	横川秀哉	松浦登美義	松本隆	河原末彦	北仲篤	徳本良孝	安達稔	長林三代	小濃孝之
49	H29歳入歳出決算認定(一般会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	// (後期高齢者医療)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市議7	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長(北仲)は、可否同数の場合のみ可否を裁決します。
 ※ 市議6号、7号は議員が提案した議案です。

(報告第15号、16号、議第66号は9月3日、議第67号~75号は9月27日に議決。その他は10月4日に議決。)

総務文教委員会

市税条例等の一部改正

主な改正点は①給与所得・公的年金等控除の一部を基礎控除に振り替え②資本金1億円超の特定法人には電子申告を義務付け③たばこ税の税率の引き上げ④わがまち特例の見直しである。

Q 市民への影響は?

A 給与所得者や年金所得者は、控除額が10万円下がるが、基礎控除額を10万円引き上げるので、影響はない。事業所得者や農業所得者は、給与所得控除のような10万円の引き下げがないため、基礎控除額の引き上げにより住民税は減額になる。

可決 意見書

◆一般国道178号の強靱化を求める意見書

【発議者】 議会運営委員長 徳本 良孝

【要旨】 国道178号は、以前から発生している越波や路肩決壊に加え、平成30年7月豪雨では斜面が崩壊し通行止めとなり、地域住民の生活や経済活動に大きな影響が生じた。

このことから、越波対策や斜面崩壊対策、迂回路の整備など、災害に強い道路整備を着実に推進するため、地域経済活動や日常生活を支える道路の強靱化に向けた道路財源の確保に特段の配慮がなされるよう強く求める。

同意 人事関係

次のおり人事案件に同意しました。

◆教育委員会委員 尾崎 里花子氏
 ◆人権擁護委員 関野 掲司氏

可決 決議

◆2025年国際博覧会の誘致に関する決議

【発議者】 坂根 栄六・松浦登美義 河原 末彦・徳本 良孝 久保 浩

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、京都府における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、府内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

よって、宮津市議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な取り組みを国、地元大阪府市、経済界とともに積極的に推進していく。以上、決議する。

討論 反対

国際博覧会のための鉄道や会場は、統合型リゾート(IRR)開業までに建設予定であり、IRR誘致とセットとなっている。巨額の建設費や運営費は、住民の生活向上に使われるべきだ。

日本共産党 長林 三代

表紙

赤ちゃん 初土俵入り

今年も快晴の体育の日に山王宮日吉神社で赤ちゃんが健康にたくましく育つことを願う神事が行われました。

江戸時代から続く「赤ちゃんの初土俵入り」は、化粧回しをして鉢巻を締めた赤ちゃんが目に見えない神様と相撲を取ります。一度は神様を土俵際まで追い詰めますが、最後は押し戻され負けてしまいます。しかし、神様と相撲を取り、神聖な土俵の砂をお尻につけることで健康を授かるという微笑ましい神事です。

この神事はテレビなどでも取り上げられ、京阪神など市外からの参加者も多く、今年は337人の赤ちゃんが土俵に上がりました。

10人の議員が一般質問

市政を問う!

◇答弁者は、下記のとおり略称を使用しています。
理事…理事兼企画部長 福祉部長…健康福祉部長
産業部長…産業経済部長

一括

城崎新市政の今後の取り組みや方針は



蒼風会 坂根 栄六

質問 昨年からの大災害などにより財政が厳しいが、次代につながる有効な政策に挑戦してほしい。今後の取り組みや方針は。

市長 「夢と希望があふれ住み続けられるまちづくり」を市民の皆さんと共に進める。公約として、①地域経済力が高まるまちづくり。②世界に誇れる観光都市を目指し、外国人観光客の誘客を強化し決済端末の導入やプロのガイド養成、食と人のネットワークの構築などに向けた支援を行いたい。③「若者が定住でき

るまちづくり」。奨学金返還補助制度や企業インターンシップ、大学連携により人の流れをつくりたい。子育て支援の充実、病児・病後児保育の実施を進めた。③「安全・安心に生活できるまちづくり」。ハード・ソフト対策を行い、地区単位での防災計画の策定や情報伝達の方法の強化を進めたい。④「ふるさとを大切にすまちづくり」。小中一貫教育により質の向上に努めるとともに、コミュニティ・スクールの導入を目指す。⑤「みんなの宝とともに発信できるまちづくり」。地域リーダーの育成、シティブロモーションの強化により、「選ばれるまちみやづ」を目指す。

一括

地域・学校・家庭が連携し地域全体で学び支える取り組みを



公明党 松本 隆

質問 宮津市の将来は次世代を担う子ども達に託す以外にない。そのためにも、地域社会の担い手となる人材の確保と育成が最大の課題であり、地域で必要とする人材育成につながる教育が求められ、少子化社会には児童・生徒の持つ力を最大限伸ばすことが重要である。一方的に教えられる受け身の教育ではなく、自ら課題を発見し解決する力など、自主的な学びを身に付ける教育への転換を図るとともに、コミュニティ・スクールなど地域・学校・家庭

が連携し、地域全体で学び支える取り組みの導入・実施の考えは。
市長 新学習指導要領では、子ども達が主体的・対話的で深い学びができるように授業改善を進め、子ども達に求められる資質・能力を社会と共有し共に育んでいく社会に開かれた教育課程が求められる。その実現のためには学校と地域の連携・協働の重要性を痛感する。年間を見据えた小中一貫教育の推進と併せ、コミュニティ・スクールの導入により、地域と一体となつて、質の高い学力が備わった、豊かな人間性や社会性を持った子ども達を育てていきたい。

一括

市財政の現況と今後の見通し、長期財政計画の必要性を問う



新生会 宮津 徳本 良孝

質問 平成28年度以降、大規模な財政支出を伴う図書館や子ども子育て施設整備、大規模ごみ処理施設整備、防災拠点施設整備など大型事業を実施されており、また去年今年と台風などによる災害復旧に係る多額の費用が必要となったが、市政の現況と今後の見通しを問う。諸般の事情を勘案すると経常的な財政運営も困難な上、緊急時に速やかな対応が不可能と考える。そこで長期財政運営計画の必要性を問う。

市長 本市では平成28年度以降、かねて

より課題であった生活関連基盤の整備に着手してきた。昨年の台風による災害復旧費は11億5千万円で、国からの交付税算入額を差し引きした実質負担額は約3億2千万円と見込んでいる。また、今年の7月豪雨災害に係る災害復旧費も多額になると考える。本市の財政状況は市税、交付税の減額、一方では社会保障経費増加などで年々厳しさを増している。具体の見通しでは、昨年報告した5年間で約36億円の財源不足が更に悪化する見込みとなるため、財政の長期計画として定めた「行財政運営指針」に基づく取り組みを進める。

一問一答

市民の命・安全を守るため、「脱原発」の立場を明確にすべき



日本共産党 小濃 孝之

質問 「井上前市政の継承」ということであれば、「脱原発」を明確にすべきと考えるがどうか。

市長 電源の多様化は必要であり、すぐに原発を廃止することは現実的でない。とは現実的でない。

質問 市長が「脱原発」の立場に立たずして、自治体の責務である、市民の命・安全は守れない。高浜原発などの再稼働をどう考えるか。

市長 原発の再稼働は、国の新規規制基準のもとで判断すべきもの。関西電力には、慎重にも慎重を尽くすよう求めている。

質問 高浜原発地域

協議会として、国や関西電力に、立地自治体以外の自治体にも再稼働の事前同意を認めるよう求めているのか。

市長 地域協議会として、法的枠組みの整備を国に求めている。立地自治体と取り扱いに差があつてはならない。

質問 関西電力から使用済み核燃料の間貯蔵施設建設の話が宮津市にあるのか。今後話があつた場合、どう対応するのか。

市長 関西電力から話はない。今後話があつた場合は、「ふ

あつた場合は、「ふるさと宮津を守り育てる条例」の趣旨を踏まえ、判断していきたい。

一問一答

災害時の情報伝達の強化に向けて



無所属クラブ 久保 浩

質問 市の防災メール登録者数は、3960件。

質問 携帯などを利用はしているものの防災メールを登録していない(できていない)住民へ、登録を呼びかけることが大変重要と考えるが、これまでの普及案内と今後の周知方法はどうか。

総務部長 広報誌お知らせ版での登録呼びかけ、市役所窓口や携帯ショップへのチラシ配置、敬老会などでのチラシ配布、集客店舗に依頼してのポスター掲示などを実施してきた。今

後も催しなどの機会を見つけ、引き続き普及に努めていきたい。

質問 防災行政無線の屋外スピーカーでは、風向きや雨の状態などで音声がかえにくくと聞く。養老や日ヶ谷など自治会によっては集会所に放送設備を設置し、スピーカー線で各世帯につなげ、地区の諸行事、市役所からのお知らせなどを適宜放送している。この自治会が設置する有線放送に防災行政無線を連携する方法を考えてはどうか。
総務部長 放送設備の改修などをしていただくと必要があるが、防災行政無線と自治会無線との連携を検討していきたい。

一括

治水対策に係る課題と中長期計画に対する考え方を問う



蒼風会 向山 禎彦

質問 治水対策で課題と認識している河川とその問題点は、**建設部長** 市の管理河川では如願寺川・滝馬川・辻川・大谷川・家の奥川、府の管理河川では神子川・大雲川・大膳川・宮川・真名井川と認識している。個々で

質問 要因は異なるが、河川の断面不足、河川の断面の屈曲、土砂の流出、流木による河川断面の閉塞対策など必要と考えている。

質問 中長期計画に対する考えは、**建設部長** ハード・ソフト一体となった防災減災対策の強化が必要である。厳しい財政状況ではあるが、中長期的な河川整備方針をまとめ計画的に進めていく。

スポーツによる市の活性化策を問う

質問 合宿誘致などスポーツ活性化策導入の考えと、その課題、計画はあるか。**教育次長** スポーツ合宿に適した環境整備を行った施設もあるが、まだ市の施設環境は不十分な面もある。また各種の情報を一元的に集約し発信する体制づくりも課題である。第2期宮津市スポーツ推進計画を策定中であり、各関連団体などと連携を図りスポーツを通じた地域活性化に努める。



公明党 松浦 登美義

一問一答

災害に強いまちづくりを

質問 土のうのないまちを目指して。台風や豪雨による被害が日常化している。

建設部長 中長期的な河川整備方針をまとめて進めていく。

稼ぐ観光で地域の潤いを

質問 世界で最も美しい湾クラブ加盟や北前船の日本遺産認定などの順風により年間300万人を超える観光入込客となった。これからは、稼ぐ観光へ。そのために、新規参入支援と共に、既存店舗の次代を見据えた店舗改修などの支援・後継者支援制度導入で地域に潤いを。**産業部長** 市支援制度のほか、商工会議所の中小企業知恵の

しかも、同じような場所で災害が起こっている。国や府への要請など抜本的な対策で災害に強い宮津の構築を。

建設部長 中長期的な河川整備方針をまとめて進めていく。

経営ステップアップ事業へ市も今年から支援、トイレ改修やIT化などへの支援もできる。今後、他に必要ない支援があれば検討する。



道の駅 海の京都宮津

一問一答

被災者の立場に立つてできる限りのことをするのが自治体だ



日本共産党 長林 三

質問 この夏は猛暑だった。指定避難所に冷暖房は必要だ。**総務部長** 設備のない2カ所の避難所は、扇風機やストーブなどで対応。エアコンは今後検討。

質問 避難指示の定義は、危険だから家に帰れないことだ。だから仮設住宅や必要な家財道具を支給する。支援したのか。**総務部長** 避難指示に強制力はなく一時帰宅は自己判断。仮住居として確保した城東タウンには、クーラーや寝具、照明器具、調理器具などを支給した。

質問 他市では被災者の状況に合わせて一戸建てを借り上げている。本市も各々の事情に合わせて支援するべきだ。城東タウンの家賃は免除だが民間借り入れは補助がない。なぜか。**総務部長** 被災者自身で借りることができない方に城東タウンを確保したもの。

質問 住民は非居住の全壊家屋の撤去や泥出しをしてほしいと嘆願している。なぜ早くしないのか。**市民部長** 国の制度拡大を受けて、市が実施するべく関係者と調整している。

質問 要は財源だ。住民の立場に立っていない。命と暮らしを守る気があるのか。**副市長** 府に確認しながら今できる範囲で一生懸命している。国にも要望していく。

一問一答

子育て支援の更なる充実を



蒼風会 横川 秀哉

質問 今後の宮津市を考えると若者の定住は大きな課題であり、Uターンはもちろんのこと他地域からの移住の推進は大変重要である。そうした観点に立つと子育て世代への支援を更に充実させることが必要不可欠である。

現在休日保育を実施しているのは府中子ども園だけが、市内中心部にも開設していただきたい。また、利用時間の見直しも検討していただきたい。

福祉部長 現在の子育て支援事業計画が平成31年度までのもので、平成32年度からの計画を新たに策定するにあたり、本年度中にニーズ調査を実施する。

病児・病後児保育の早期実現を

質問 以前から検討されている病児・病後児保育の現在の課題と、いつ頃実現可能かを問う。**福祉部長** 平成27年度から宮津市、伊根町、与謝野町の連携により府立医大北部

医療センターが最適施設であるとして協議を進めている。実施施設の改修が必要であり、平成31年度中に開設できるように取り組んでいく。

一問一答

地区防災計画の策定に向けて



蒼風会 長本 義浩

質問 多種多様な自然災害が日本国内で発生する中で、市民の安心・安全のまちづくりのため、地区・自治会単位での地区防災計画を策定してはどうかと考える。現在、市内の自主防災組織は何隊あるか。**総務部長** 66の自治会に79隊の組織がある。

質問 自主防災・自衛消防隊のリーダー・隊長は誰がしているか。**総務部長** 自治会長が兼任しているケースが多い。

質問 任期が1、2年の自治会長がリ

ダーであることに何か考えはあるか。**総務部長** 地域の判断を尊重することが前提だが、防災リーダーと自治会長とは兼任ではない方が好ましいと考える。

質問 地域での防災リーダー育成のための研修内容のイメージは。**総務部長** 地区防災計画、防災マップの必要性、地区住民が助け合いながら避難することの大切さなどを伝えたい。

質問 京都府のマルチハザードマップがあるが、活用指導はできるか。**総務部長** 京都府でもマルチハザードマップの活用には力を入れられており、その指導者から、活用の指導を受けることは可能である。

研修会に参加しました『1期目議員研修会』



【開催日】平成30年10月15日(月)

【講演①】地方議会のズレの構造
講師 元衆議院法制局 参事 吉田 利宏 氏

【講演②】議会の使命と議員の職責
講師 新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口 一博 氏

研修会には京都府下14市町村の新人議員、議長、事務局職員が参加。本市からは新人議員5人が参加しました。

講演①では、地方議会の「ズレ」の認識と活かし方、住民参加の意義など。講演②では、データに基づいた政治家への期待と議員活動の本質、議会活動と議員活動との違いなどの講義を受けました。

議員が
おじゃましました!

センター方式による 学校給食始まる (宮津小・栗田小・吉津小・府中小) (宮津中・栗田中 1130食)



アレルギー対応
アレルギー食対応調理室では、アレルギー物質を除去し、約70食を作っている。

衛生管理
加熱前後で区域を分け、調理員の作業衣の色を変えて、相互立ち入りを禁止している。回収した食缶などは、洗浄室で洗浄後、庫内の空気を90℃以上のホットエアに変換したカートイン消毒保管庫で翌日まで保管し、衛生管理に努めている。



ハーベットの職員のみなさん

取材して感じたこと
常に市の栄養教諭2名が、分刻みの作業工程をチェックし指導されています。給食実施に責任を持つ市として体制を整えているように感じました。

(河原 末彦)

学校では
配送された食缶・食器などを配膳員が受け取り、クラスごとに配置

← 校長先生の検食

← 給食当番が配膳室へ給食を取りに行き、教室で食器に取り分け

← 食後は、食缶などを配膳室に戻す

先生の話
給食は野菜も多いです。弁当のように、好物の物ばかりではありませんが、子ども達は給食を楽しみにしています。

子どもの声
〇栄養を考えて作ってくれているので、好き嫌いせずに食べようと思います。

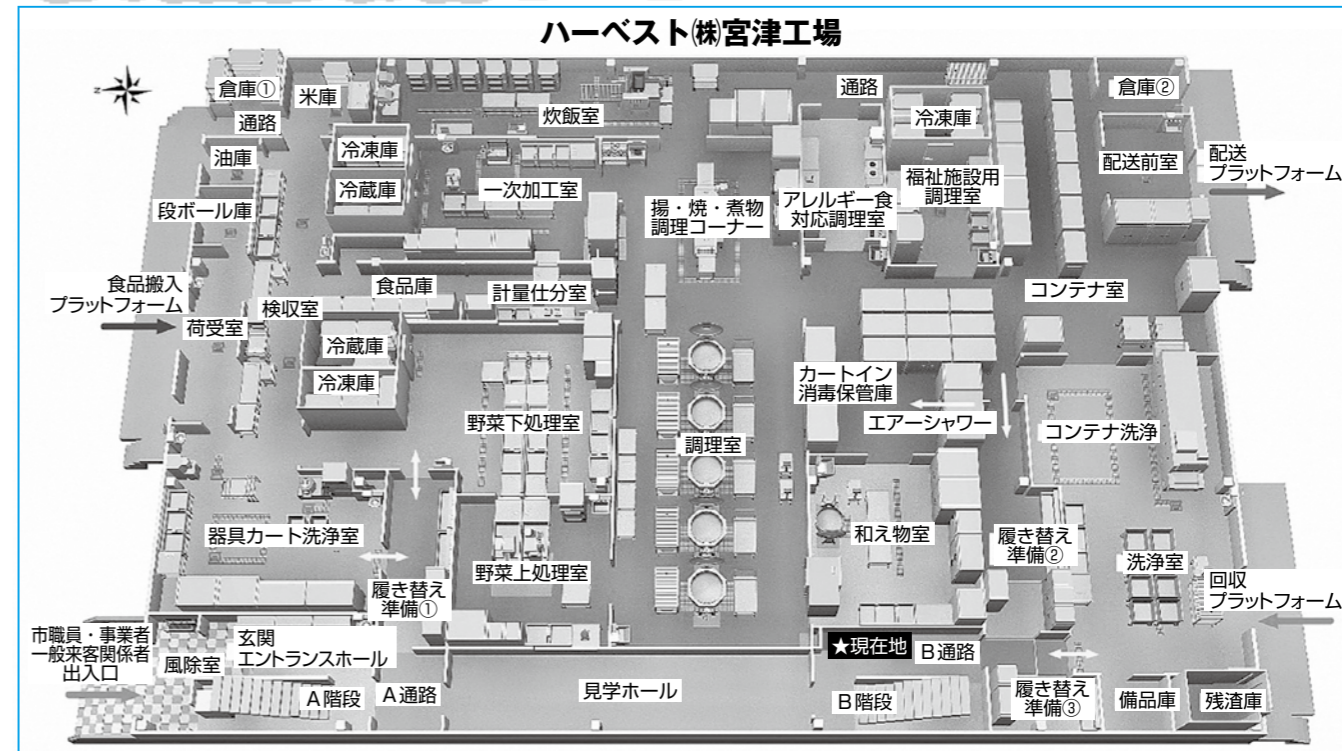
〇配膳は面倒だけど、温かくておいしいです。

〇魚が多いので、お肉のおかずがもっと食べたいです。

〇食器が軽くなつてうれしいです。



給食が入った食缶



給食ができるまで

市が献立作りと食材発注

← 食材の検収作業

← 水を流しながら食材洗浄

← 食材をカット(芋類・葉物類は手切り)

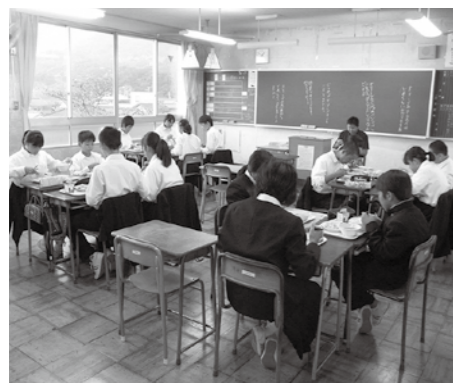
調理

- 加工食品は控え、可能な限り手作り
- 煮炊き…蒸気式回転釜
- 揚げ物…自動温度制御された連続フライヤー
- 焼き物・蒸し物…スチームコンベクションオーブン
- 和え物…専用釜で素早く調味料と混ぜ合わせ
- 洗米…計量から洗米までを自動洗米
- 炊飯…ガス式立体炊飯器

市の栄養教諭が味の確認と検食

← **学校へ配送**

工場長の話
安全に細心の注意を払っています。非汚染作業区域への入室は、エアシャワーを通過し、髪の毛や埃を落とされています。手袋が破損していないかなども、二人一組で1時間ごとに確認し合っています。



給食風景



給食を取り分ける生徒



配膳室



アレルギー食対応調理室



蒸気式回転釜での調理



食材の洗浄

ひとこと

絆は深まる

宮中37会 会長 小田和夫さん

私たちは宮津中学校昭和37年度卒業生有志の会です。毎月最終週決まった日に、2時間半程のお楽しみ会を行っています。途中、一人3分コーナーを設け、近況報告をし合っています。今年で10年になりました。宮津市民総おどり大会には京都・大阪からも馳せ参じてくれる友もあり、平成25年以来連続出場しています。

今年11月27日には、午後2時からミッブル3階の図書館横のルームで、宮津市出身の江戸川乱歩賞作家、私たちの同級生である山崎洋子氏の講演会を開く予定にしています。また、来年3月には、滝上公園で私たち主催のグランドゴルフ大会を、今年11月27日には、午後2時からミッブル3階の図書館横のルームで、宮津市出身の江戸川乱歩賞作家、私たちの同級生である山崎洋子氏の講演会を開く予定にしています。また、来年3月には、滝上公園で私たち主催のグランドゴルフ大会はこれで3年連続開催になります。広く市民に呼びかけたいと思っています。



みんなで集まり体を動かそう「グランドゴルフ」

12月定例会 会議日程

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	本会議 (開会・提案説明)					
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (一般質問)		本会議 (質疑～委員会付託)	常任委員会・予算 決算委員会分科会	(予備日)	
16	17	18	19	20	21	22
			予算決算委員会			
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 (委員長報告～採決)			

※開議時刻10:00 (12/19、12/26は13:30～) ・この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。

市民と議会の懇談会を 開催しました

10月22日から11月2日に開催した「市民と議会の懇談会」には、多くの皆さんにご参加いただきありがとうございました。

現在、概要を取りまとめており、その内容は次号(2月5日発行)に掲載する予定です。

編集後記

7月から9月の豪雨により宮津市でも甚大な被害が発生しました。被災された皆様並びにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様が一日も早く普段の生活に戻れますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、大型事業が重なった平成29年度の決算審査も終わりました。今後、大変厳しい財政状況が続きますが、議員の役割であるチェック機能を強化してまいります。今後とも、行政や議会に対する御意見をお寄せいただければ幸いです。(星野)